

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 30 日(2025.6.30)

【公開番号】特開 2024-23059(P2024-23059A)
【公開日】令和 6 年 2 月 21 日(2024.2.21)
【年通号数】公開公報(特許)2024-033
【出願番号】特願 2022-126613(P2022-126613)
【国際特許分類】

A 0 1 N 31/02(2006.01)

10

A 0 1 P 1/00(2006.01)

A 0 1 N 25/02(2006.01)

【F I】

A 0 1 N 31/02

A 0 1 P 1/00

A 0 1 N 25/02

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 20 日(2025.6.20)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3 - メチル - 3 - メトキシブタノール及び 2 - エチルヘキシルグリセリルエーテルを有効成分とするウイルス不活化剤。

【請求項 2】

ウイルスがエンベロープを有する RNA ウイルスである、請求項 1 に記載のウイルス不活化剤。

30

【請求項 3】

ウイルスがインフルエンザウイルスである、請求項 1 に記載のウイルス不活化剤。

【請求項 4】

液相においてウイルスを不活化する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のウイルス不活化剤。

【請求項 5】

3 - メチル - 3 - メトキシブタノールを 8 % (v / v) 以上及び 2 - エチルヘキシルグリセリルエーテルを 0 . 2 % (v / v) 以上含有するウイルス不活化組成物。

【請求項 6】

40

3 - メチル - 3 - メトキシブタノール及び 2 - エチルヘキシルグリセリルエーテルを含有し、3 - メチル - 3 - メトキシブタノールの含有量が 2 - エチルヘキシルグリセリルエーテル 1 質量部に対して 10 質量部以上 200 質量部以下であるウイルス不活化組成物。

【請求項 7】

3 - メチル - 3 - メトキシブタノール及び 2 - エチルヘキシルグリセリルエーテル、又はこれらを含有する組成物をウイルス汚染が懸念される対象に適用する、ウイルス不活化方法。

【請求項 8】

適用形態が加圧空気霧化噴霧装置、霧化装置及び拡散装置のいずれかから選ばれる噴霧器を用いて噴霧する形態であって、前記噴霧器の噴出口から噴霧方向に 15 cm の地点に

50

おける噴霧粒子の平均粒子径が $5\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $500\text{ }\mu\text{m}$ 以下である請求項 7 記載のウイルス不活化方法。

10

20

30

40

50